

令和8年度 新規事業計画地区評価調書

担当部課名	農林水産部農村森林整備課
-------	--------------

事業区分	地区名		所在地
林道事業	板屋寺倉線		那珂川市大字成竹 福岡市早良区大字板屋
全体計画事業費 (百万円)	着手予定年度	完了予定年度	
3, 727	令和8年度	令和17年度	

事業目的	事業内容
<p>当該計画路線の利用区域内の人工林率は81%、その内、木材として利用可能な9齢級以上のスギ・ヒノキ人工林面積は75%を超えており、森林施業が必要な状況であるが、木材価格の低迷や担い手不足等により適正な施業がなされていない人工林が増加している。また、林業就労者の減少及び高齢化の傾向の中、林業経営の向上を図るためには、林業の機械化は不可欠であり、その推進に伴う林道等の基盤整備が重要な課題となっている。そのため、当該計画路線の開設により、収益間伐・主伐・再造林の森林整備の好循環を図ることを目的としている。</p> <p>また、那珂川市寺倉地区及び福岡市板屋地区では、豪雨等により道路災害が発生しており、災害時の迂回路としての役割も期待されている。</p>	<p>○林道開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長 10. 1km [新設 7. 6km 改良 2. 5km] ・幅員 4. 0m [車道幅員 3. 0m]

評価視点	評価内容	評価区分
I 位置付け	<p>利用区域森林面積は307haである。【40 30 20】 [採択50ha以上] 地域森林計画に事業内容が位置付けられている。【30 0】 代替案の可能性がない。【30 0】</p>	A (80)
II 必要性	<p>区域内の森林整備予定面積は49.18ha、割合が16%であり、10%以上20%未満である。【40 30】 当該路線の下流部に位置する集落の災害時の緊急迂回路として利用できる。【40 0】 利用区域内に森林総合利用等がない。【20 0】</p>	B (70)
III 有効性	<p>費用対効果(B/C)は1. 16であり、1. 0以上1. 5未満である。【40 30】 [採択1.0以上] 環境保全への配慮を検討している。【40 0】 コスト縮減について具体的に配慮した計画となっている。【20 0】</p>	A (90)
IV 実施体制等	<p>事業実施に対して期成会等を組織することができる。【30 20 0】 利害関係者の同意は概ね得られている。【30 20 0】 施設管理予定者と維持管理の方法等について協議し合意を得ている。【30 20 0】 調整(協議)を要する事項について事前調整がとれている。【10 5 0】</p>	A (90)
総合		ランク (I)